

学校経営概要

三浦市で育てたい子ども像

○心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども

現在、そして将来にわたって、「人として自らを信じ、向上心をもって生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども

自分が置かれている状況を肯定的にとらえ、「三浦の魅力を心に温めて生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

自己中心的に物事をとらえるのではなく、「他も尊重しながら生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。



育てたい子ども像

Ⅰ、「みんななかよく、思いやりのある子」

生命を大切にし、自他を思いやる心を持ち、協力して生活を向上させようとする態度や心情を育てる。

Ⅱ、「すすんで学び、よく考え、行動する子」

自分の課題を見つけ、よく考え、正しく判断し、創造的に解決しようとする、主体的な態度を育てる。

Ⅲ、「心も体もたくましく、最後までやりとげる子」

自立や自製の心、強い意志と実践力を持ち、自らすすんで健康な体力づくりに努める能力や態度を育てる。



学校経営に関する基本方針

- ①豊かな社会性を育てる
- ②豊かな学力を身につける
- ③主体性を育てる
- ④先生が学ぶ
- ⑤よく見える情報発信



本年度の重点

本年度の目標 剣崎小 116年ありがとう ～そして新たな未来へ～

①落ち着いて学び生活しよう

統合閉校に向けた取り組みを行う中、日常の学び、生活を着実に積み重ねる
日常の学びに統合閉校への取り組みを効果的に取り入れ、児童の負担を増やさないようにする

②新たな未来に向けて前進しよう

統合に向けた取り組みを通して、未来や進路に目を向けて自分の将来に意欲を持たせる
南下浦小学校との交流を社会性を育てる場として活かす

③「ありがとう」を感じよう 伝えよう

閉校に向けた地域の人々の思いや協力から、人がつながることの意味を体験的に学ぶ
閉校と向き合い、自分や仲間の思いや気持ちに触れること、伝えたり共有したりすることで心を育てる